

6職場組織が春闘要求書を提出

小樽一般・カイゲンファーマ支部／札幌地域・北海定温分会
函館合同・函館小型運送分会／函館合同・月寒運輸分会
函館合同・昭和運輸分会／函館合同・東洋実業分会

小樽一般労組カイゲンファーマ支部は2月27日に春闘要求書を提出しました。要求は、賃金引き上げがベースアップ分として2%増額（定期昇給分を除く）、一時金が夏季・年末を合わせて月例給与（職能給+職務手当）の5.024か月分などです。

札幌地域支部北海定温分会は2月28日に提出した春闘要求書で、基本給3%上乘せ、夏季一時金を基本給の1か月分、冬季一時金1.5か月分などを要求しました。

2月28日に提出した函館合同支部の各分会の要求内容については次号でお知らせします。

各職場組織の春闘要求書のコピーを道本部に送ってください

札幌市長選挙 渡辺達生さんが立候補 「市民主権を実現する会」が発足

札幌市長選挙（3月24日告示・4月7日投票）に、弁護士の渡辺達生さんが立候補を表明しました。札幌地区労連・共産党などをつくる「明るい札幌市政をつくる会」は、新社会党や自由党とともに2月28日に「市民主権を実現する会」を立ち上げ、4つの共同目標（①憲法9条・25条を守り、憲法を市政に活かしたまちづくり。②市民の声を聞き、福祉・くらし・教育を充実し、安心して子育てでき住み続けられるまちづくり。③札幌経済の主役地元業者・中小企業の振興を図り、雇用の確保で若者が生き生きと暮らせるまちづくり。④泊原発の再稼働に反対し、再生エネルギーの拡充をめざすまちづくり）にもとづき、渡辺達生候補を立ててたかうことを決めました。建交労北海道本部第37回道本部委員会では「札幌市長選挙については、相乗りの秋元市政からの転換をめざし、明るい札幌市政をつくる会の候補を支持してたたかいます」と決定しています。

渡辺達生さんは札幌で25年にわたり弁護士活動をしてきて、建交労との関係では「トンネルじん肺根絶訴訟」北海道弁護団の事務局長や「札幌市公契約条例の制定を求める会」事務局長などとして多くの分野とともに運動をすすめてきました。

北の鉄路存続 1の日行動 すべての争議解決

3月1日、札幌駅南口で「北の鉄路存続を求める」宣伝行動がおこなわれ、日高線や留萌線沿線からも参加して市民に訴えました。引き続き「すべての争議解決・1の日行動」では福祉保育労・自交総連・医労連からたたかひの報告と訴えがありました。